



日本語

User Guide



バージョン 2.0

LAUNCHPAD X



目次

導入	3
主な特長	3
箱の中	3
はじめる	4
アブルトライブ	7
Launchpad X を他のソフトウェアで使用する	7
トラブルシューティング	7
ハードウェアの概要	8
Launchpad X インターフェイス	10
セッションモード	11
Ableton Live のセッションビュー	11
ミキサーモード	13
ノートモード	18
クロマチックモード	19
スケールモード	20
ノートモードの設定	21
オーバーラップ	23
ドラムモード	24
カスタムモード	26
デフォルトのカスタムモード	26
Novation コンポーネントでのカスタムモードのセットアップ	28
ライティングパッド (上級)	30
設定	31
LED 設定	32
ペロシテイ設定	34
アフタータッチ設定	35
フェーダー設定	36
レガシーモード、ライブモード、およびプログラマーモード	37
Launchpad X レガシーモード	37
ブートルoaderメニュー	38
デフォルトの MIDI マッピング	40
その他の情報	42
商標	42
免責事項	42
著作権および法定通知	42

導入

Launchpad X は、Ableton Live に不可欠なグリッドコントローラーです。Launchpad X を使用すると、音楽制作が加速され、ライブパフォーマンスが高速かつ触覚的なエクスペリエンスになります。

Launchpad X を使用すると、セッションビューが画面からフルカラーで指先に表示されるため、Ableton Live でのクリップの起動が簡単になります。音楽制作をさらに進め、Launchpad X で強力なノートモードを使用してトラックを構築し、ベロシティパッドと感圧パッドで表現力豊かなビートとメロディーを配置します。

このマニュアルは、新しいグリッドコントローラーのすべての機能を理解し、Launchpad X を使用して制作とパフォーマンスを次のレベルに引き上げる方法を説明するのに役立ちます。

主な特長

- 8×8 グリッドの 64 個の RGB LED バックライト付きパッド。
- 楽器の表現力豊かなパフォーマンスを実現するベロシティおよびプレッシャーセンシティブパッド。
- クリップやシーンを起動して Ableton Live を使用してパフォーマンスする
- MIDI をキャプチャし、Ableton Live で演奏を録音します。
- プラグアンドプレイ - USB バスパワー
- 強力な多用途なモード: セッション、ノート、および 4 つのカスタムモード
- Ableton Live Mixer - トラックごとにボリューム、パン、センドをコントロール
- ストップ、ソロ、ミュート、録音アームボタンによるパフォーマンスコントロールへの直接アクセス
- 強力な音楽制作ソフトウェアが付属 - Ableton Live Lite、およびさまざまな高品質のインストゥルメントとエフェクトが付属
- カスタムモードでソフトウェアを制御する無限の可能性

箱の中

- ランチパッド X
- USB-C - USB-A ケーブル

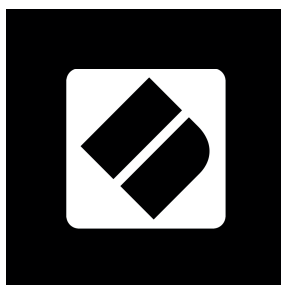
はじめる

新しいビートメーカーであっても、熟練したプロデューサーであっても、Launchpad X をできるだけ簡単に使い始められるようにしました。当社の Easy Start ツールは、これまでに音楽を作成したことがない場合でも、付属のソフトウェアをできるだけ早くダウンロードしたい場合でも、ニーズに合わせたセットアップに関するステップバイステップのガイドを提供します。

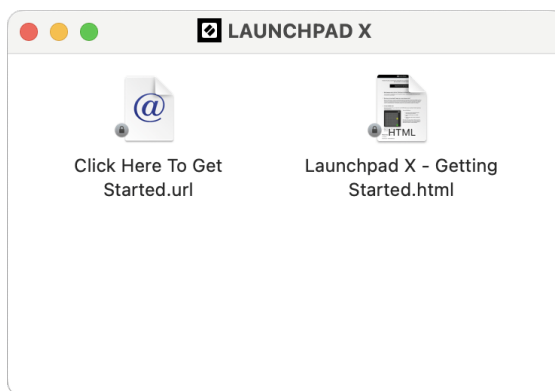
Easy Start Tool にアクセスするには、Launchpad X を接続します。

Mac を使用している場合:

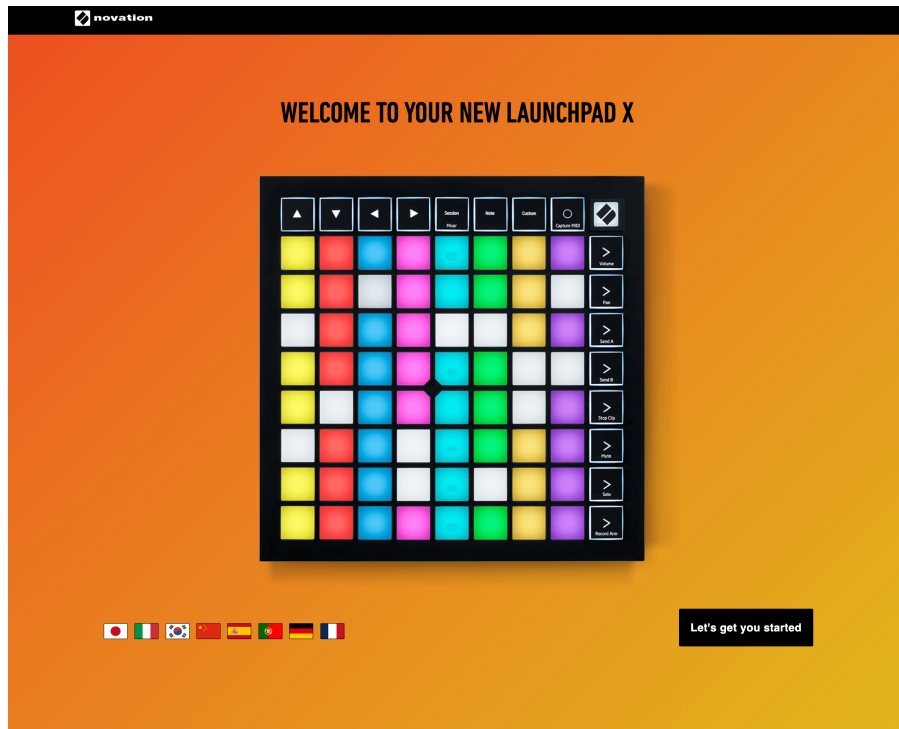
1. デスクトップで Novation Easy Start アイコンを見つけダブルクリックし、「LAUNCHPAD X」フォルダーを開きます。



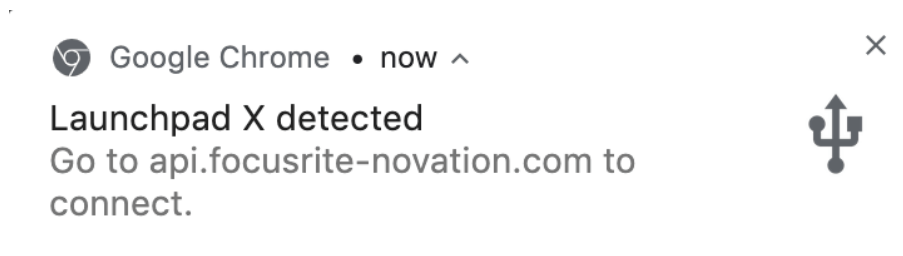
2. フォルダー内で、「Click Here to Get Started.url」ファイルをダブルクリックします。



3. Easy Start Tool に移動し、セットアップを行います。

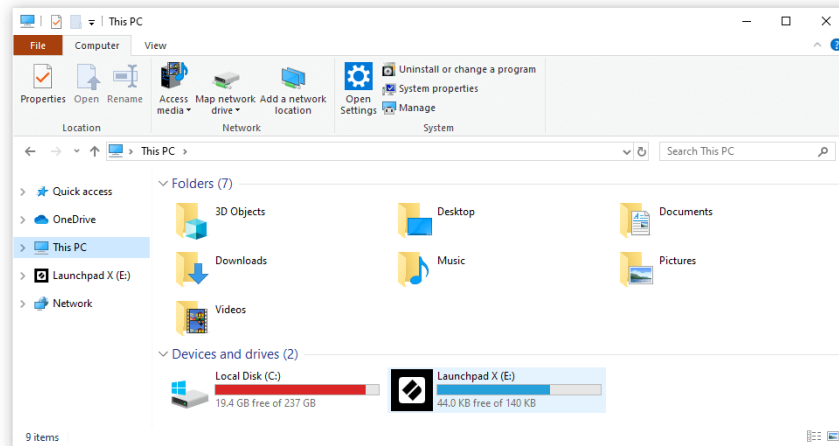


あるいは、Launchpad X を接続するときに Google Chrome を開いている場合は、ポップアップが表示されます。ポップアップをクリックして簡単スタートに進みます。

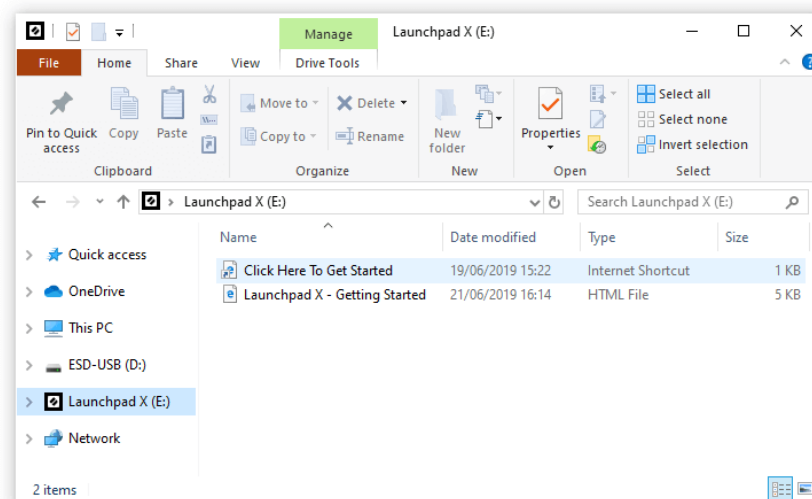


Windows を使用している場合:

1. スタートボタンを押して「This PC」と入力し、Enter キーを押します。
2. この PC で、ドライブ「Launchpad X」を見つけてダブルクリックします。



3. ドライブ内で、「Click Here to Get Started.html」というリンクをクリックします。
4. Easy Start Tool に移動し、セットアップを行います。



アブルトライブ

Ableton Live (Live とのみ呼ばれることが多い) は、音楽作成のためのユニークで強力なソフトウェアです。Ableton Live Lite は Launchpad X に付属しており、独自の音楽制作を始めるために必要なすべてのツールが提供されます。

これまでに Ableton Live を使用したことがない場合は、Easy Start Tool にアクセスすることをお勧めします(「起動と実行」を参照)。ここでは、Ableton Live Lite のダウンロードとインストールについて説明します。ソフトウェアの基本機能を説明したビデオもあるので、Launchpad X を使用して Ableton Live で音楽制作を始めることができます。

Ableton Live がインストールされている場合は、Mac または PC の USB ポートに接続して Launchpad X を起動して実行します。Live を開くと、Launchpad X が自動的に検出され、セッションモードに入ります。

Ableton Live の多くの機能の使用に関する詳細リソースは、次の Ableton サイトで見つけることができます。

ableton.com/live/learn-live

Launchpad X を登録し、Ableton Live Lite ライセンスを取得するには:

customer.novationmusic.com/register

Launchpad X を他のソフトウェアで使用する

Launchpad X は Ableton Live 用に作られていますが、他のソフトウェアのコントローラーとしても使用できます。他の音楽制作ソフトウェアを使用している場合は、次のサイトにアクセスしてください。

support.novationmusic.com Launchpad X のセットアップ方法の詳細については、「Launchpad X」を参照してください。

トラブルシューティング

Launchpad を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください:

novationmusic.com/get-started

Launchpad に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です:

support.novationmusic.com

のアップデートを確認することをお勧めします。Launchpad 最新の機能と修正が適用されます。を更新するには Launchpad のファームウェアを使用する必要があります。コンポーネント:

[コンポーネント.novationmusic.com](https://components.novationmusic.com)

ハードウェアの概要



1. ナビゲーションボタン
2. セッションモード (+ミキサー切り替え)
3. ノートモード
4. カスタムモード
5. MIDI の録音とキャプチャ
6. 8×8 パッドグリッド
7. シーン起動ボタンとミキサーボタン



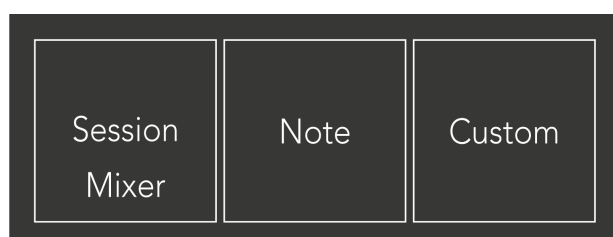
8. USB-C ソケット
9.  - ケンジントンロック。Launchpad を固定し、盗難から守ります。

Launchpad X インターフェイス

モードは Launchpad X インターフェイスの中核です。ビューを切り替えることができ、それぞれで異なる機能を提供します。

次の3つの異なるモードが利用可能です。

- セッション (ミキサー)
- 注記
- カスタム



上に表示されているモードパッド(セッション/ミキサー、ノート、またはカスタム)を押して、それぞれのモードに入ります。現在アクティブなモードは薄緑色に点灯します。現在利用可能なモードは薄暗く点灯します。

セッションモードの場合は、セッションパッドをもう一度押すと、ミキサーモードに切り替わります。ミキサーモードでは、シーン起動ボタンはサブテキストに沿った Ableton Live ミキサー機能になります(上から下へ: ボリューム、パン、センドA、センドB、クリップの停止、ミュート、ソロ、録音アーム)。

8つあります **カスタム** 利用可能なモード。[カスタム] ボタンを押すと、デフォルトでカスタムモード1に入ります。他のカスタムモードにアクセスするには、カスタムボタンを押した後、シーン起動ボタンを使用します。現在選択されているカスタムモードは薄緑色に点灯し、利用可能なカスタムモードは薄暗く点灯します。

Novation コンポーネントを使用すると、カスタムモードを編集し、ニーズに合わせてカスタマイズできます(「**カスタムモード**」)。

セッションモード

Ableton Live のセッションビュー

Ableton Live のセッションビュー

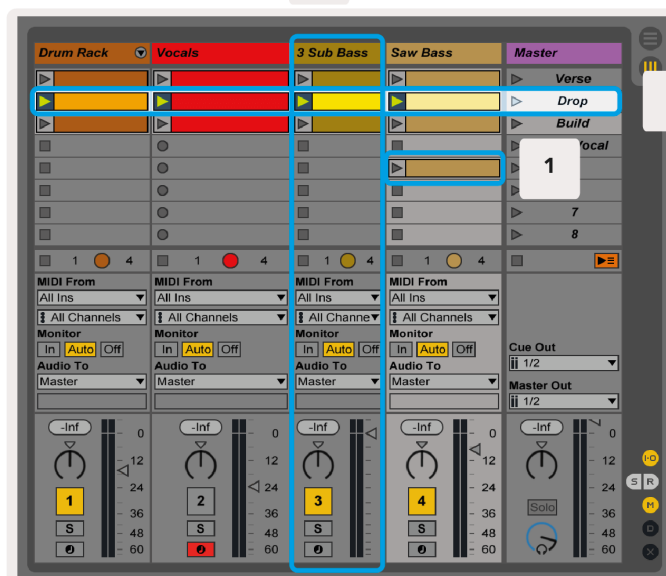
セッションモードは、以下に示すように、Ableton Live のセッションビューを制御するように設計されています。

これまでに Ableton Live を使用したことがない場合は、Easy Start Tool にアクセスすることをお勧めします（「起動と実行」を参照）。ここには、付属の Ableton Live Lite ダウンロードコードがあります（Launchpad X の登録を選択した場合）。インストール、ソフトウェアの基本機能、Ableton Live で Launchpad X を使用して音楽制作を開始する方法を説明するビデオもあります。

セッションビューは、クリップ、トラック（列）、およびシーン（行）で構成されるグリッドです。セッションモードでは、Launchpad X のセッションビューでクリップの 8×8 ビューが提供されます。

1. クリップは通常、MIDI ノートまたはオーディオを含むループです。
2. トラックは、仮想インストゥルメントまたはオーディオトラックを表します。インストゥルメントトラックに配置された MIDI クリップは、そのトラックに割り当てられたインストゥルメントで再生されます。
3. シーンはクリップの行です。シーンを起動すると、その行内のすべてのクリップが起動します。つまり、クリップを（トラック全体の）水平グループに配置して曲構造を形成し、シーンを次々に起動して曲を進行させることができます。

2



3

▲▼◀▶ ボタンを使用して、セッションビューを移動できます。セッションビューグリッド内の赤い枠は、Launchpad X に現在表示されている領域を示しています。



注記

このアウトラインはどの色でも表示できますが、機能には影響しません。

- ・ パッドを押すと、Ableton で対応するクリップが再生されます。色はスクリーンとパッドに合合わせます。
- ・ パッドを押すと緑色に点滅し、クリップがキューに登録され、間もなく再生が開始されることを示します。クリップの再生中、パッドは緑色に点滅します。
- ・ トラックごとに一度に1つのクリップのみを再生できます。空のクリップを押すと、そのトラック上の現在のクリップが停止します。
- ・ 水平方向に並んだクリップをシーンと呼びます。> を使用してシーンをトリガーできます。Launchpad X の右側にある (シーン起動) ボタン。

トラックが録音準備されている場合 (ミキサーモードを参照)、[O] ボタン (セッション録音) を使用して、現在再生中のクリップのオーバーダブ録音を有効にすることができます。

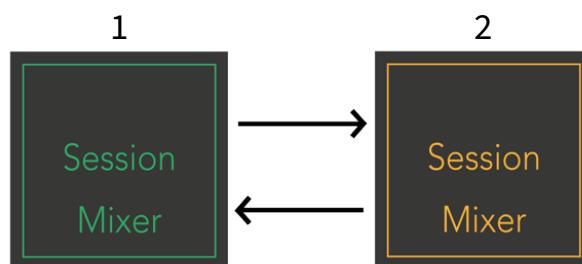
Capture MIDI を押し続けると、最近の演奏をキャプチャして MIDI トラックに配置します。アームされたトラックでクリップが再生されていない場合、Ableton Live は MIDI ノートを新しいクリップに配置します。クリップが再生中の場合、MIDI ノートはそのクリップにオーバーダビングされます。



ミキサーモード

ミキサーモードはセッションモードのサブモードで、Ableton Live のさまざまなトラックパラメータをコントロールできます。ミキサーモードは、セッションモードでセッションボタンを押すとオンとオフを切り替えることができます。セッションボタン:

1. セッションモードでは薄緑色に点灯します。
2. ミキサーモードではオレンジ色に点灯します。



ミキサーモードでは、シーン起動ボタンは、各ボタンのテキストに対応するミキサー機能になります(以下にリストします)。

ミキサー機能を選択すると、選択されていることを示すために明るく点灯します。同じミキサー機能をもう一度押すと、その機能が選択解除されます。選択されていないミキサー機能は薄暗く点灯します。



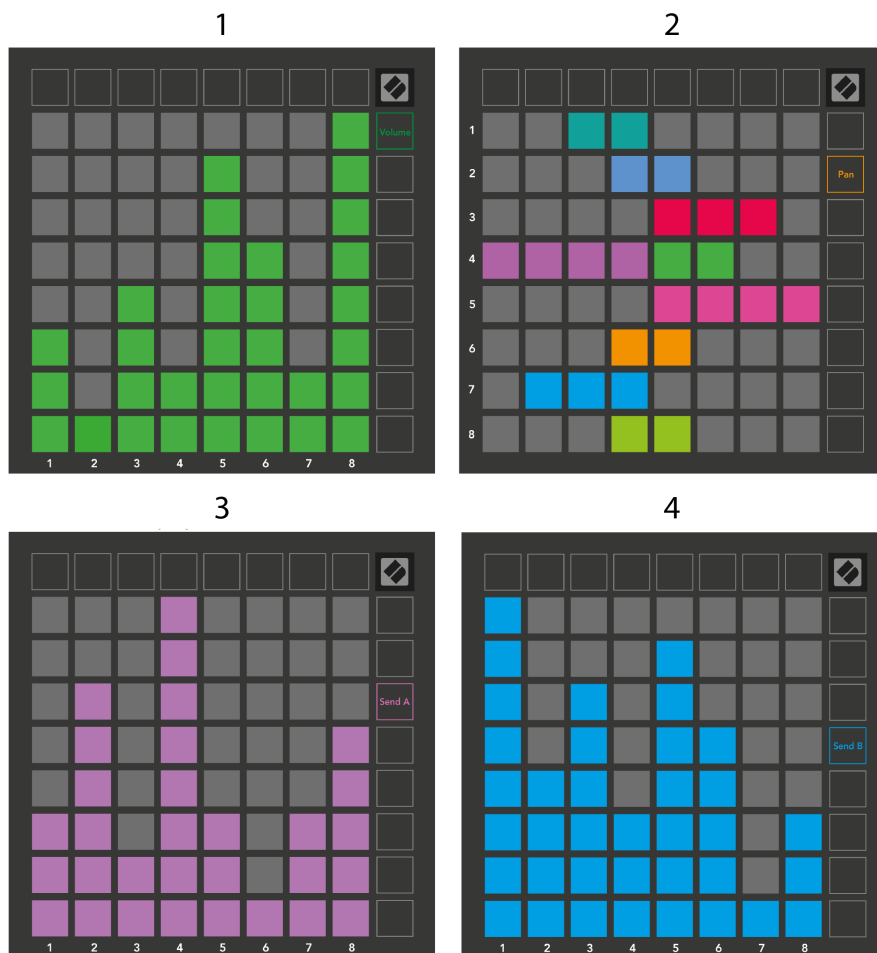
- **音量:**セッションビューで現在選択されている 8×8 エリア内のトラックの音量レベルを制御します。ボリュームフェーダーは垂直です。
- **パン:**セッションビューで現在選択されている 8×8 エリア内のトラックのステレオパンを制御します。パンは水平方向に表示されます。上のパンは一番左のトラックを表し、一番下のパンは一番右のトラックを表します。
- **送る:**セッションビューで現在選択されている 8×8 エリア内のトラックのセンドレベルをセンド A に制御します。センドフェーダーは垂直です。
- **送信 B:**セッションビューで現在選択されている 8×8 エリア内のトラックのセンドレベルをコントロールして B に送ります。センドフェーダーは垂直です。
- **クリップの停止:**パッドの一番下の行を Stop Clip トリガーでオーバーレイします。押すと、対応するトラック内のクリップの再生がフレーズの終わりで停止します。
- **ミュート:**パッドの一番下の行をミュートトラック切り替えでオーバーレイします。押すと、対応するトラック内のクリップの再生が停止します。
- **ソロ:**パッドの一番下の行をソロトラック切り替えでオーバーレイします。押すと、対応するトラック内のクリップの再生が停止します。
- **レコードアーム:**パッドの一番下の行を Record Arm トラックの切り替えでオーバーレイします。押すと、対応するトラック内のクリップの再生が停止します。

音量、パン、送る そして **送信 B** それぞれ 8 つのフェーダーのセットです。フェーダーは、ボリューム、センド A、センド B では垂直ですが、パンでは水平です (下記を参照)。パッドを押すと、フェーダーの位置が上下 (または左から右) に移動します。

フェーダー 速度に敏感です。フェーダーのパッドを強く叩くと値の変化が速くなり、パッドを弱く押すと値の変化が遅くなります。

フェーダーにはマイクロ値も搭載されています。これらにアクセスするには、単一のパッドを複数回タップします。押すたびに、わずかに高い値が出力されます。これにより、フェーダーによるより細かい制御が可能になります。パッドごとに4つのマイクロ値があります。最高のマイクロ値に達すると、同じパッドをもう一度押すと最低値に戻ります。フェーダーのマイクロ値は、フェーダーの最高値パッドの明るさによって示され、ディムが最低のマイクロ値、フルの明るさが最高になります。

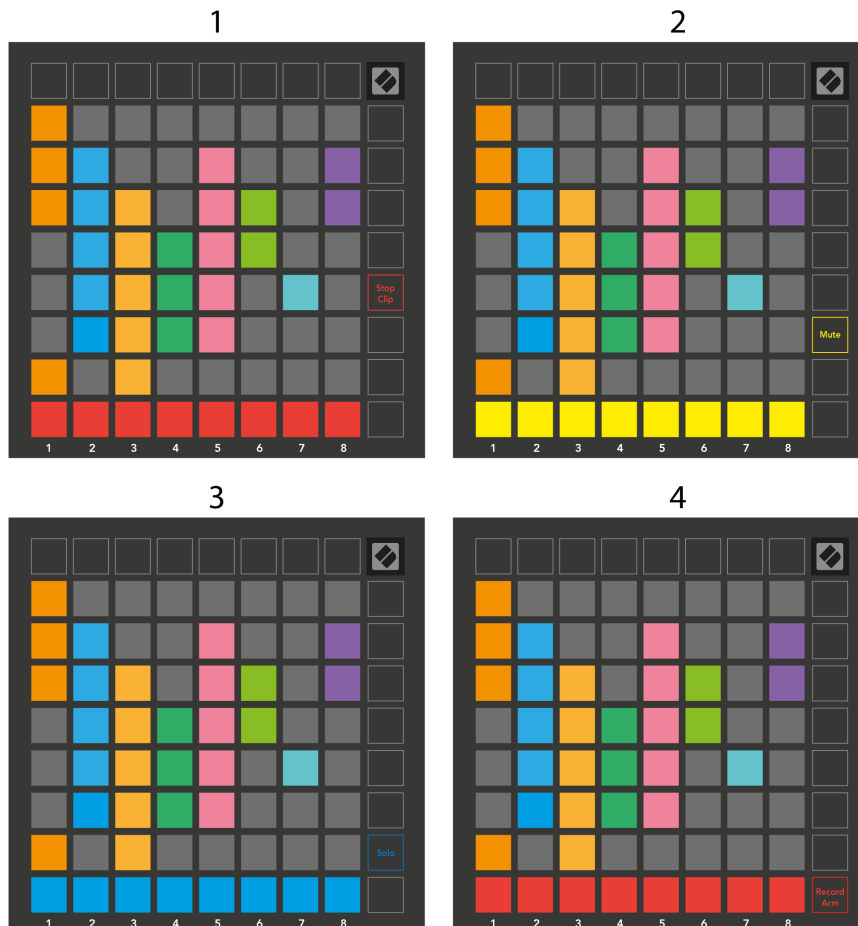
1. すべてのトラックの音量フェーダーが緑色になります。
2. パンは左右を自然に見せるために水平になっています。フェーダーはトラックの色を使用します。
3. Send A のフェーダーはすべてのトラックで紫色になります。
4. Send B のフェーダーはすべてのトラックで青色になります。



上の各フェーダーの番号は、セッションビューの赤い枠に関してフェーダーがどのトラックに関連しているかを示します。一番左のトラックがパンの一番上のトラックになります。

ミキサーモードでは、パッドの最下列で4つのパフォーマンストラックコントロールを即時に制御できます。これらの機能は、ミキサー機能を押すとパッドの一番下の行にオーバーレイされます。

1. 赤 - 停止 (特定のトラックでのクリップの再生を停止します)
2. 黄色 - ミュート (特定のトラックをミュート)。
3. 青 - ソロ (特定のトラックをソロ)。
4. 赤 - 録音アーム (特定のトラックを録音用にアームします)。



現在録音アーム、ミュート、ソロのトラックのパッドは明るく点灯し、その他のトラックは暗く点灯します。

トラックが録音準備されている場合、列内のすべての空のクリップが薄暗く点灯します。クリップが押されると、クリップが赤く点滅して、録音キューに入っていることを示します (録音ボタンも同時に点滅します)。録音が始まるとパッドが赤く点滅し、録音ボタンが明るい赤に点灯します。録音ボタンを押すと、クリップが赤く点滅し、まもなく録音が停止されることを示します。録音中にトラックがアーム解除されている場合、クリップはすぐに録音を停止します。

セッションモードとミキサーモード内のビューに一時的な切り替えを使用できます。たとえば、トラックのミュートを表示しているが、すぐにボリュームフェーダーにアクセスしてトラックの音量を上げる必要がある場合があります。音量を押したままにして、音量フェーダーを編集し、音量を放すとミュート表示に戻ります。



注記

現在表示されていないときは、フェーダーは動き続けません。

ノートモード

Launchpad X のノート モードを使用すると、速度と感圧性の 8×8 グリッドでドラムやメロディック楽器を表現力豊かに演奏できます。

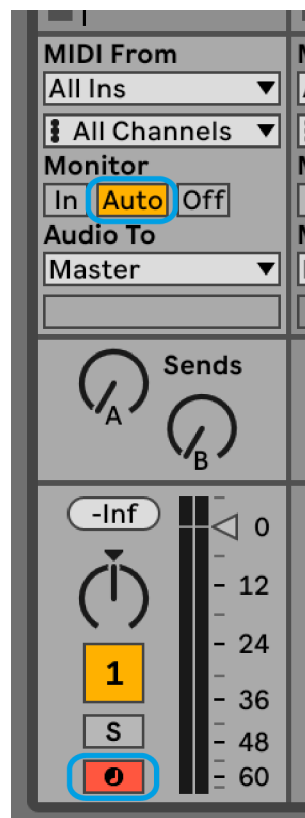
Note モードのレイアウトは可変で、半音階、スケール、またはドラムのレイアウトを選択することができます。Launchpad X のプレイ面を自分に合わせてカスタマイズできます。

どのレイアウトでも、▲▼を使用してオクターブを増減し、◀▶を使用してグリッドを半音上下に移調します。

Note モードは、Ableton Live で現在アーミングされているインストゥルメントに動的に反応します。ドラムトラックを含むトラックが Live でアーミングされている場合、ノートモードは自動的にドラムレイアウトに切り替わり、他の楽器の場合はその逆になります。

Ableton Live では、ブラウザからインストゥルメントを選択してダブルクリックする (またはトラックにドラッグする) ことで、インストゥルメントを MIDI トラックにロードします。何も聞こえない場合は、トラックが録音可能になっていて、モニタリングが自動に設定されていることを確認してください。

- ・ モニターは自動に設定されています
- ・ 赤いアーム ボタンは、トラックが録音アームされていることを示します



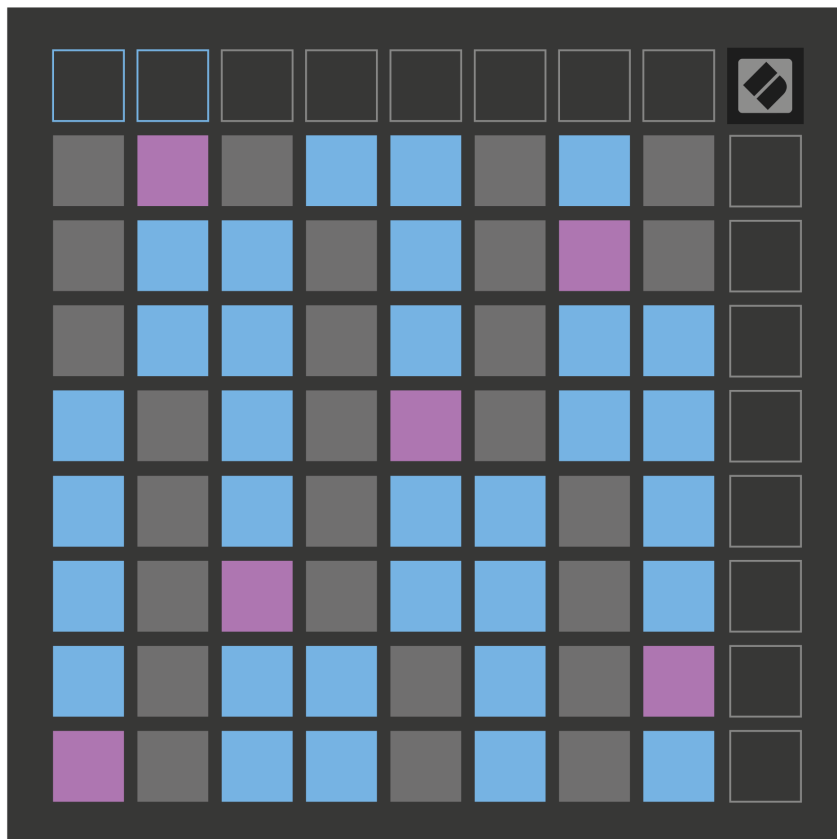
クロマチックモード

クロマチックモードは、ノートモードのデフォルトのレイアウトです。8×8グリッド内のパッドを押してノートトリガーします。クロマチックモードではすべてのノートを演奏できますが、パッドを使用するとどのノートがスケール内にあるかを視覚的に示すことができます。

青色のパッドは現在選択されているスケール(デフォルトではCマイナー)内のノートを表し、紫色のパッドはスケールのルートを表し、空白のパッドはスケール外のノートを表します。

ここで見られるデフォルトの半音階レイアウトはギターに似ており、1オクターブは上に2つのパッド、横に2つのパッドです。これにより、ギターのコード形状を使用できるようになります。さらに、パッドの6列目は、上の行の1列目と同じノートを演奏し、ギターのレイアウトをさらに模倣します。

Noteモード設定でクロマチックモードのレイアウトを変更できます。Noteモード設定にアクセスするには、Noteを押したままにします(「ノート」を参照) [ノートモードの設定 \[21\]](#) 詳細については)。

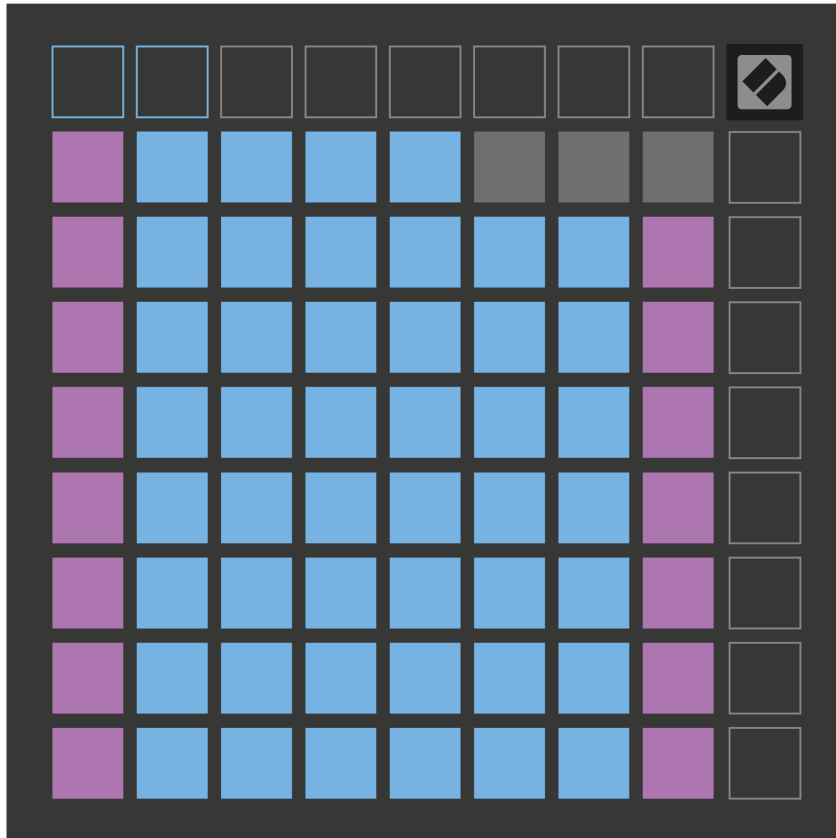


スケールモード

スケールモードでは、Launchpad Xは現在のスケールの音符のみを表示します。これにより、キーが狂うことなく自由に演奏することができます。

クロマチックモードと同様に、青いパッドは現在選択されているスケール内のノートを表し、紫色のパッドはスケールのルートを表します。ここで、空白のパッドは、パッドが再生可能な範囲外にあるため、その位置にノートが存在しないことを示します。この範囲外の動作はクロマチックモードにも当てはまります。

スケールモードのレイアウトは、ノートモード設定で変更できます。ノートモード設定にアクセスするには、ノートを押したままにします(「ノート」を参照) [ノートモードの設定 \[21\]](#) 詳細については)。



ノートモードの設定

ノートモード設定では、クロマチックモードとスケールモードの切り替え、現在選択されているスケールとルートノートの変更、オーバーラップコントロールによるノートモードのレイアウトの変更、ノートモードのMIDIチャンネルの変更が可能です。

ノートモード設定に入るには、長押しします。**注記**。ノートモード設定では、ノートパッドが緑色に点滅します。を押します。クロマチック/スケール切り替えパッドを使用して、クロマチックモード(薄暗い赤で点灯)とスケールモード(明るい緑で点灯)を切り替えます。

オーバーラップクロマチックモードとスケールモードの両方のレイアウトを変更できます(「オーバーラップ」)。

スケールビューアは、ピアノレイアウトキーボードで現在選択されているスケールにどのノートが含まれているかを示します。青いパッドはスケール内のノートを示し、紫色のパッドはルートを示し、薄暗く光る白いパッドはスケールの外側のノートを示します。スケールビューアでパッドを押すと、スケールのルートノートが変更されます。

スケール選択 16 の異なるスケールから選択できます。パッドを押してスケールを選択します。選択したスケールは明るい白色に点灯し、選択されていないスケールは薄暗い青色に点灯します。

MIDIチャンネル送信するノートモードは1～16の間で選択できます。これは、複数のトラックの録音が準備されているときに特定のトラックにノートを送信したい場合に便利です。

The interface is divided into several functional areas:

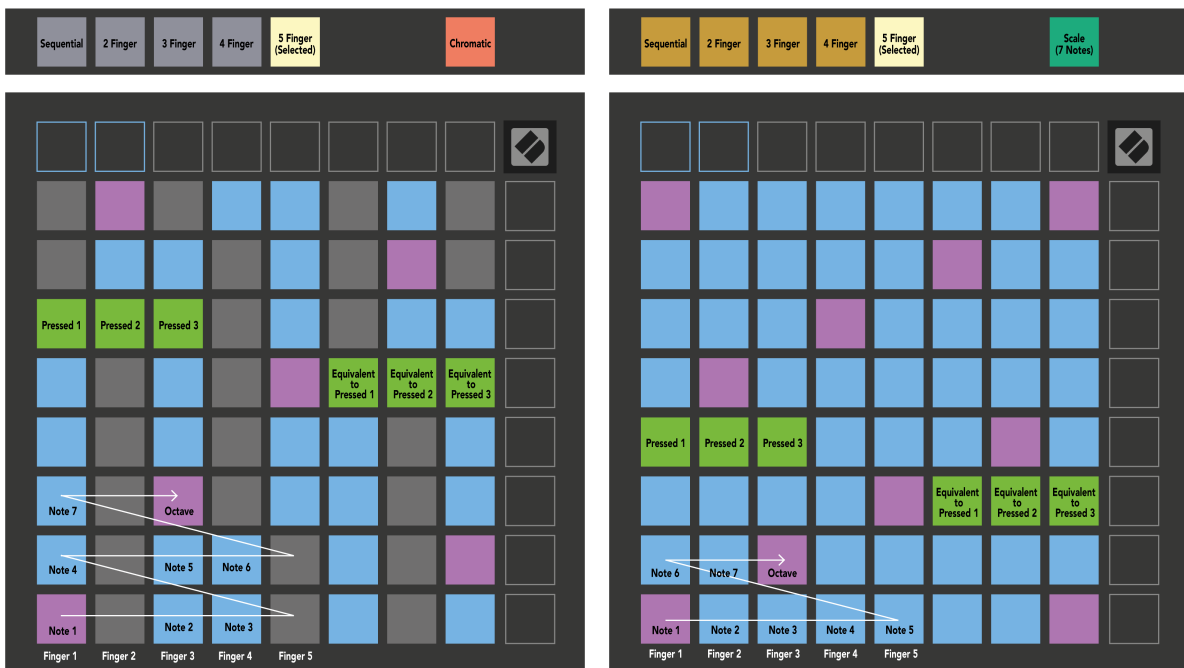
- Overlap layout:** A row of buttons for selecting fingerings: Sequential, 2 Finger, 3 Finger, 4 Finger, 5 Finger (Selected), and Chromatic /Scale Toggle.
- Scale Viewer + Root Note Select:** A grid of buttons for selecting notes relative to a scale, with 'In Scale' in blue and 'Out of Scale' in grey.
- Scale Select:** A grid of buttons for selecting different scales, including Major, Dorian, Phrygian, Mixolydian, Melodic Minor (Ascending), Harmonic Minor, BeBop Dorian, Blues, Minor Pentatonic, Hungarian Minor, Ukranian Dorian, Marva, Todi, Whole Tone, and Hirajoshi.
- MIDI Channel Select:** A grid of buttons for selecting MIDI channels from 1 to 16, with MIDI Channel 1 (Selected) highlighted in yellow.

オーバーラップ

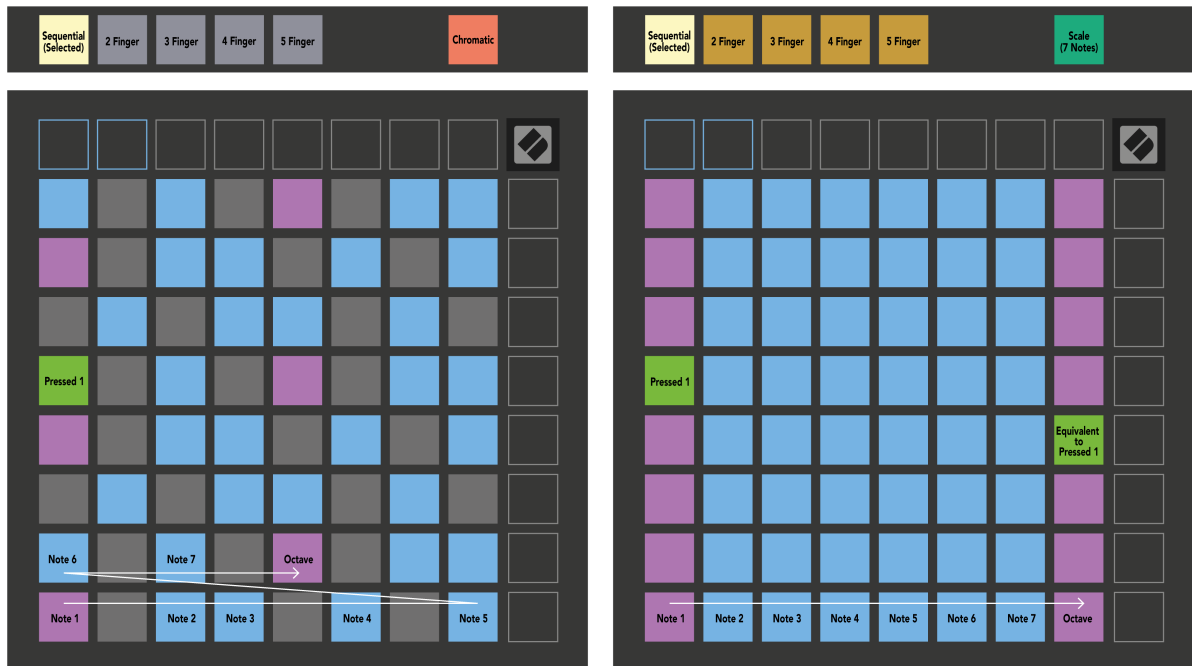
オーバーラップは、異なる行にあるノート間の関係を決定します。5のオーバーラップは、行の左端のパッドが、その下の行の向かい側の6番目のパッドと同じノートを演奏することを意味します。

各オーバーラップレベルは、スケールを演奏するために必要な指の数を表します。たとえば、4本の指のオーバーラップを使用すると、4本の指だけでグリッドを垂直に上るスケールを演奏できます。片手でプレイするのに最適です。

連続オーバーラップは、2、3、4、および5つの指のオーバーラップとは異なる動作をします。クロマチックモードでは、ノートは直線的にレイアウトされ、各パッドに固有になります。スケールモードではルートのオクターブのみがオーバーラップされます。スケールモードのシーケンシャルレイアウトは、さまざまなオクターブにわたってスケールを簡単に演奏するための優れた方法を提供します。



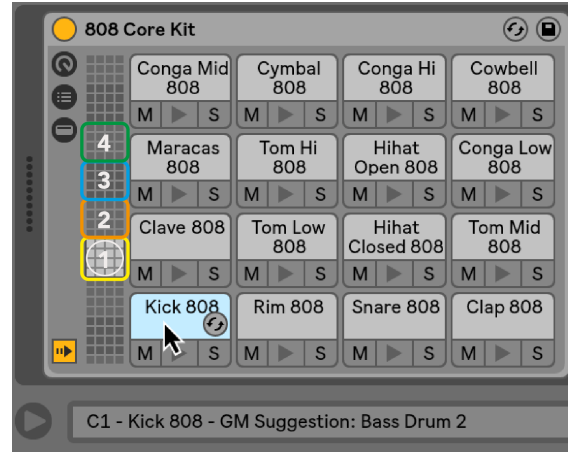
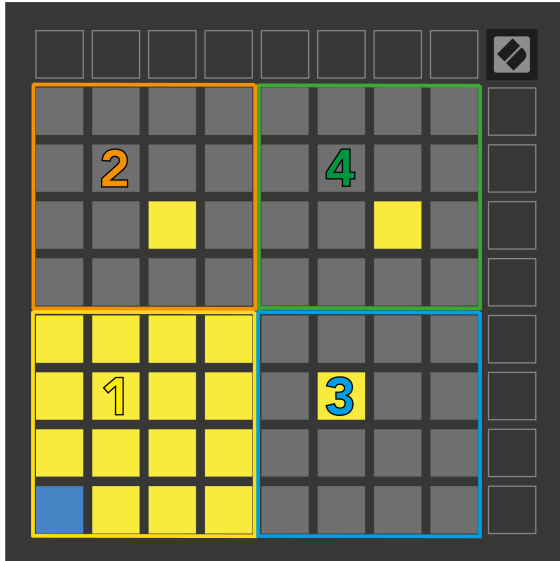
ドラムモード



Ableton Live Drum ラックを現在アームされているトラックにロードすると、ノート モードはドラム ラックの現在の状態を表し、どのスロットが埋まっているかを示します。

Ableton Live では、ブラウザからドラムキットを選択してダブルクリック (またはトラックにドラッグ) して、ドラムキットを MIDIトラックにロードします。何も聞こえない場合は、トラックが録音準備されていて、モニタリングが自動 (ノート モード) に設定されていることを確認してください。

ビューは 4 つの 4×4 エリアに分割されており、各エリアは以下に示すドラム ラックのエリアを表します。



▲▼ ボタンを使用して 16 スロットのセットで、または ◀▶ ボタンを使用して 4 つのスロットのセットで、ドラム ラックの表示領域をスクロールできます。左下の 4×4 エリアは、Ableton Drum ラックで現在表示されているスロットに常に対応します。

上の図のエリア 2、3、または 4 にサンプルがロードされている場合、エリア 1 とまったく同様に、明るく点灯した黄色のパッドとして表示されます。

ドラムパッドを押すと、パッドが青に変わり、選択されていることを示します。その後、このスロットにあるサンプルを Ableton Drum Rack 内から編集できます。

現在アームされているトラック上に他の楽器がある場合、グリッドはスケール モードまたはクロマチック モードに戻ります。

Ableton Live では、ブラウザからインストゥルメントを選択してダブルクリック (またはトラックにドラッグ) して、インストゥルメントを MIDI トラックにロードします。何も聞こえない場合は、トラックが録音可能であり、モニタリングが自動的に設定されていることを確認してください。

カスタムモード

カスタムモードは、Launchpad X の 8×8 グリッドを詳細にカスタマイズ可能なコントロールサーフェスに変えます。

すべての Novation 製品のオンラインハブである Novation コンポーネントを使用して、カスタムモードを作成および編集できます。ここで作成したカスタムモードをバックアップすることもできます。ダウンロードしてコンポーネントを探索できるカスタムモードテンプレートがいくつかあります。

コンポーネントにアクセスするには、次のサイトにアクセスしてください。[コンポーネント.novationmusic.com](https://www.novationmusic.com) Web MIDI 対応ブラウザを使用します (Google Chrome または Opera を推奨します)。

あるいは、Novation サイトのアカウントページからコンポーネントのスタンドアロンバージョンをダウンロードします。

カスタムモードは、Launchpad Mini [MK3] と Launchpad X の間で完全に互換性があります。

デフォルトのカスタムモード

デバイスではデフォルトで 4 つのカスタムモードが利用可能です。

カスタムモードにアクセスするには、[カスタム] ボタンを押します。上部の 4 つのシーン起動ボタンが点灯し、カスタムモード 1、2、3、4 を切り替えることができます。

64	65	66	67	96	97	98	99
60	61	62	63	92	93	94	95
56	57	58	59	88	89	90	91
52	53	54	55	84	85	86	87
48	49	50	51	80	81	82	83
44	45	46	47	76	77	78	79
40	41	42	43	72	73	74	75
36	37	38	39	68	69	70	71

カスタム 1 は、ノートモードのドラムレイアウトに似たドラムレイアウトです。異なる点は、これが静的レイアウトであることです。現在の Ableton Drum ラックを表すものではなく、オクターブの変更には反応しません。このモードは、Ableton ドラムラック以外のドラムマシンを演奏する場合に便利です。

	73	75		78	80	82	
72	74	76	77	79	81	83	84
	61	63		66	68	70	
60	62	64	65	67	69	71	72
	49	51		54	56	58	
48	50	52	53	55	57	59	60
	37	39		42	44	46	
36	38	40	41	43	45	47	36

Custom 2 は、伝統的なピアノ/キーボードを代表するクロマチックレイアウトです。すべてのカスタムモードと同様、このモードはオクターブの変更には反応しません。

64	65	66	67	96	97	98	99
60	61	62	63	92	93	94	95
56	57	58	59	88	89	90	91
52	53	54	55	84	85	86	87
48	49	50	51	80	81	82	83
44	45	46	47	76	77	78	79
40	41	42	43	72	73	74	75
36	37	38	39	68	69	70	71

Custom 3 は Custom 1 の非点灯バージョンです。このレイアウトに MIDI ノートを送信すると、受信ノートのペロシテイに応じてパッドが点灯します。

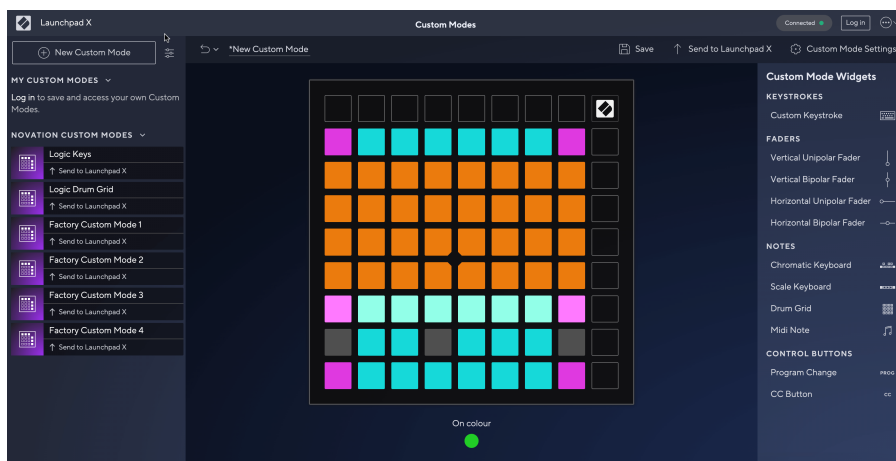
81	82	83	84	85	86	87	88
71	72	73	74	75	76	77	78
61	62	63	64	65	66	67	68
51	52	53	54	55	56	57	58
41	42	43	44	45	46	47	48
31	32	33	34	35	36	37	38
21	22	23	24	25	26	27	28
11	12	13	14	15	16	17	18

カスタム 4 は、カスタム 3 とは異なるノート値を持つ非点灯レイアウトです。ノート値はプログラマーモードと一致しますが、8×8 グリッドのみに適用されます。

Novation コンポーネントでのカスタムモードのセットアップ

Novation コンポーネントでカスタムモードを作成および編集できます。ブラウザベースのアプリとスタンドアロンのデスクトップアプリの2つのバージョンのコンポーネント。コンポーネントアプリを開くか、コンピューターに Web サイトを読み込むと、Launchpad X は自動的に接続します。

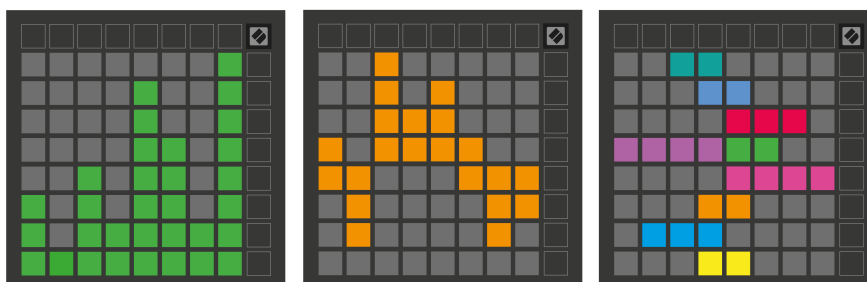
ホームアイコン (右上隅) の横にある製品名が Launchpad X ではない場合は、ホームアイコンをクリックし、製品のリストから Launchpad X を選択します。



カスタムモードでは、8x8グリッド上の各パッドは、ノート、MIDI CC (コントロールチェンジ)、またはプログラムチェンジメッセージとして機能します。カスタムモードでは、フェーダーとCCパッドが受信CCにตอบสนองし、受信CC値に応じて位置と照明を調整します。

パッドは、トグル、トリガー、またはモーメンタリースイッチとして動作します。瞬間的な動作は、パッドが押されるとノートをオンにし、押さないとノートがリリースされます。トリガーは常に、指定されたCC値またはプログラム変更メッセージを送信します。

パッドの行と列全体がフェーダーとして機能することもあります。フェーダーにはCC値を割り当てることができ、ユニポーラまたはバイポーラにすることができます。フェーダーを水平または垂直に配置できます。



8×8グリッド内のパッドが押された/切り替えられたときに、カスタムモード内のパッドに「オン」および「オフ」の色を割り当てることができます。(例: ノートが演奏されているとき、または一時的なCC変更が切り替えられているとき)。カスタムモードごとに「オン」カラーは1つだけありますが、各パッドは固有の「オフ」カラーを持つ場合があります。

カスタムモードでは、ノート、CC、プログラムチェンジ、フェーダーを任意に組み合わせて使用できます。スタジオ用に独自のパーソナライズされたコントロールサーフェスを設定できます。

独自のカスタムモードの作成方法に関する実践的な情報については、「コンポーネント」にアクセスして対話型チュートリアルをご覧ください。思ったよりも簡単です。

ライティングパッド (上級)

デフォルトでは、Custom 3 と Custom 4 ではすべてのパッドが消灯しています。Launchpad X に送信された MIDI ノート メッセージは、ノート番号とベロシティに応じてパッドを点灯させます。送信されたノートによってどのパッドが点灯するかが決まり、ノートのベロシティによって色が決まります。これは、64 RGB パッドを使用してライト ディスプレイを作成する場合に便利です。

RGB LED は 127 色の出力が可能で、そのインデックスはプログラマ リファレンス ガイドに記載されています。

さらに、すべてのパッドとボタンを点灯させることができます。プログラマーモード。

ライティングパッドと Launchpad X をソフトウェアのコントロールサーフェスとして使用する方法の詳細については、customer.novationmusic.com/support/downloads からダウンロードできる『プログラマーズリファレンスガイド』を参照してください。

ゴーストモードカスタムビューの特別なサブモードです。これがトリガーされると、カスタムモードの使用中に Launchpad X の端の周囲にある機能ボタンの LED がオフになります。ゴーストモードに入るには、Note キーと Custom キーを続けて押します。このアクションの後、8×8 グリッドのみが点灯します。ボタンの LED を再度有効にするには、8×8 グリッドの外側にある任意のボタンを押します。

設定

Launchpad X の設定とセットアップメニューを使用すると、多くの側面にわたって環境設定を行うことができます。LED、ペロシテイ、アフタータッチ、フェーダーの4つのページが利用可能です。

設定メニューに入るには、Session を短く押し続けます。上の4行にはメニューのトピックを示す文字LEDが表示されます。上部の4つのシーン起動ボタンを使用して、別のページにアクセスします。

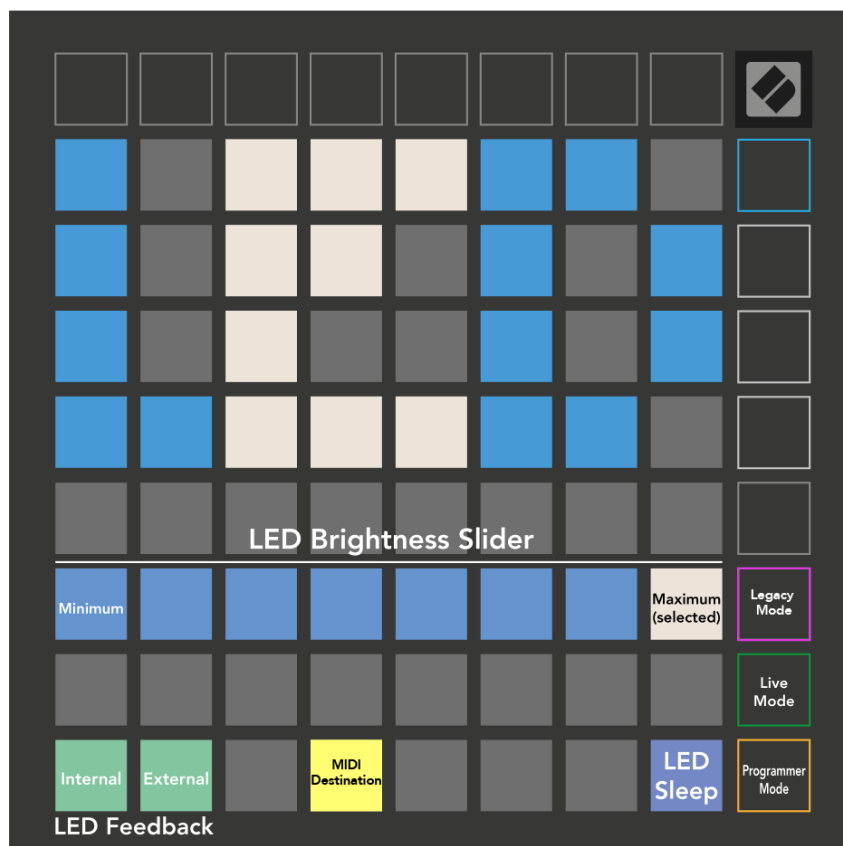
LED 設定

最初のシーン起動ボタンは、Launchpad X の LED 設定にアクセスします。ここで、LED の明るさ、LED フィードバックを変更し、LED スリープに入ることができます。

の LED 輝度レベルスライダー 明るさは最小から最大まで 8 段階あります。明るく点灯する白いパッドは、現在選択されているレベルを示します。

LED フィードバック (内部) カスタム モードで 8×8 グリッド上のパッドを押したときに点灯するかどうかを切り替えます。明るい緑色は LED フィードバック (内部) が有効であることを示し、薄暗い赤色は無効であることを示します。この設定はデフォルトで有効になっています。**LED フィードバック (外部)** カスタムモードとプログラマーモードで外部から MIDI を受信したときに 8×8 グリッド上のパッドが点灯するかどうかを切り替えます。明るい緑色は LED フィードバック (外部) が有効であることを示し、薄暗い赤色は無効であることを示します。この設定はデフォルトで有効になっています。

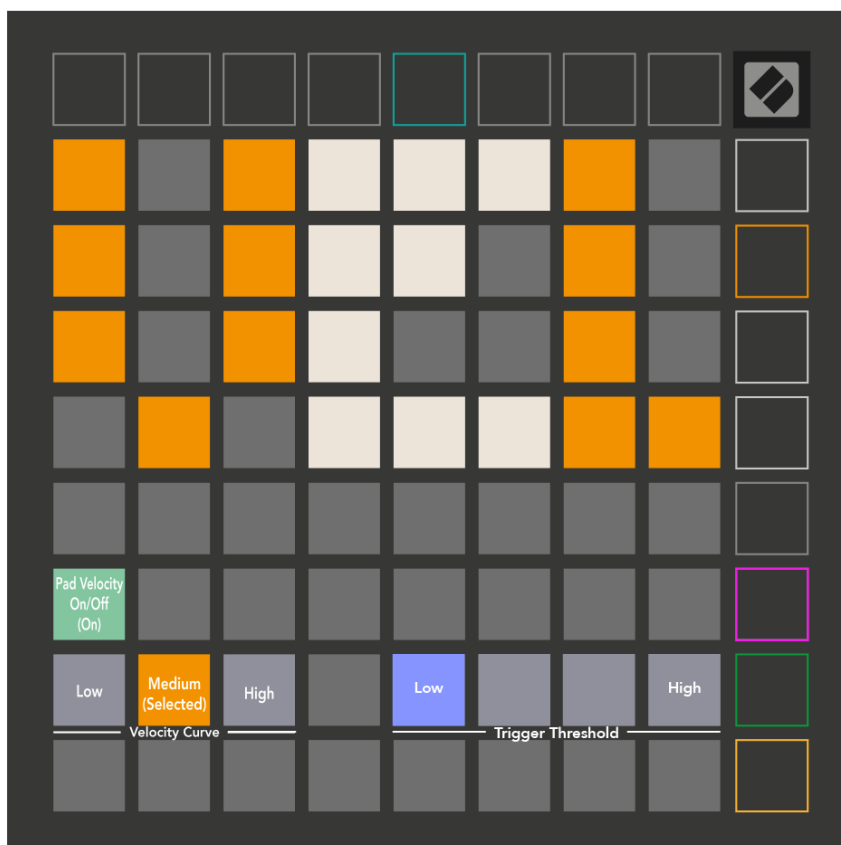
MIDI 宛先 MIDI データを両方の USB MIDI ポート (明るく点灯) に送信するか、2 番目の USB MIDI ポートのみ (薄暗く) に送信するかを切り替えます。この設定は、ノートまたはカスタム データが最初の USB MIDI ポートに送信されないセッション モードでは無視されます。



LED スリープ を押すと、Launchpad X のすべての LED がオフになります。任意のボタンまたはパッドを押して、デバイスをウェイクアップします。これは、Launchpad X を使用していないが、プラグを抜きたくない場合に便利です。

ベロシテイ設定

2番目のシーン起動ボタンは、Launchpad Xのベロシテイ (VEL) 設定にアクセスします。ここで、ベロシテイ感度をオンまたはオフにし、3つのベロシテイカーブから選択できます。



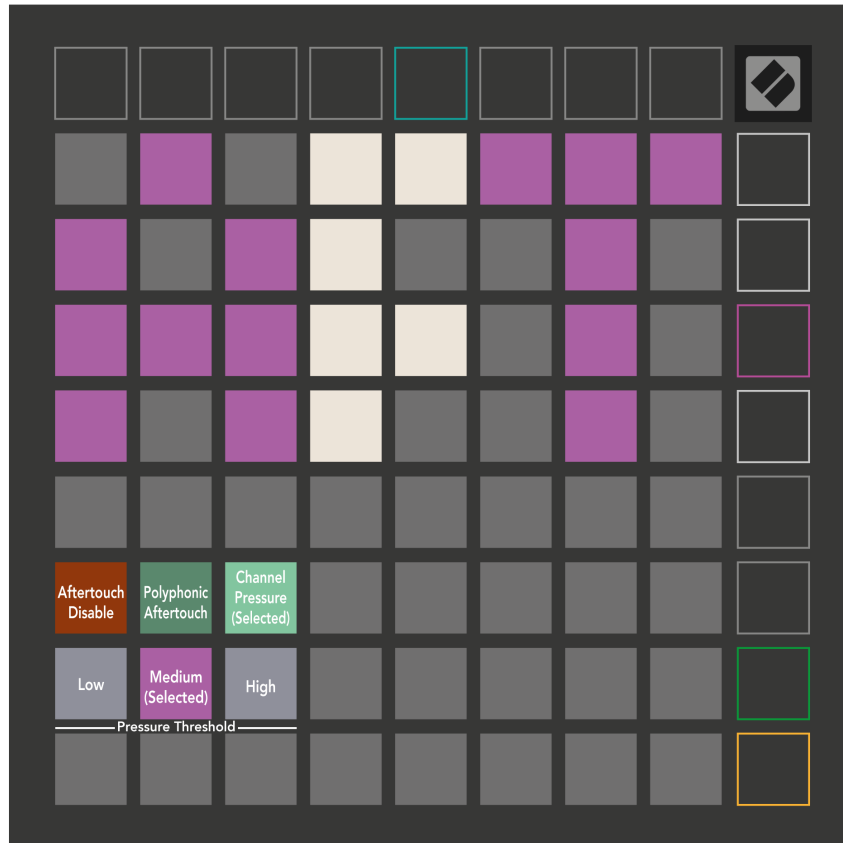
[ベロシテイの有効化/無効化] トグルを押して、Launchpad Xでベロシテイをグローバルに有効または無効にします。ベロシテイが有効な場合、パッドは明るい緑色に点灯し、無効な場合は薄暗い赤色に点灯します。

3つからお選びいただけます **速度曲線**。「低」では、高いベロシテイ値をトリガーするためにより大きな力が必要で、「高」では、高い値をトリガーするにはより低い力が必要です。選択したカーブは明るいオレンジ色に点灯し、その他のカーブは薄暗く点灯します。

設定できるのは、**トリガーしきい値**パッド用。設定は低から高まで4段階あります。設定が低いほど、パッドをトリガーするために必要な圧力が少なくなり、設定が高いほど、パッドをトリガーするために必要な圧力が大きくなります。

アフタータッチ設定

3番目のシーン起動ボタンは、Launchpad X のアフタータッチ (AFT) 設定にアクセスします。ここでは、チャンネルプレッシャー、ポリフォニックアフタータッチ、またはアフタータッチの無効化のいずれかを選択し、アフタータッチをトリガーするための3つのしきい値を選択できます。

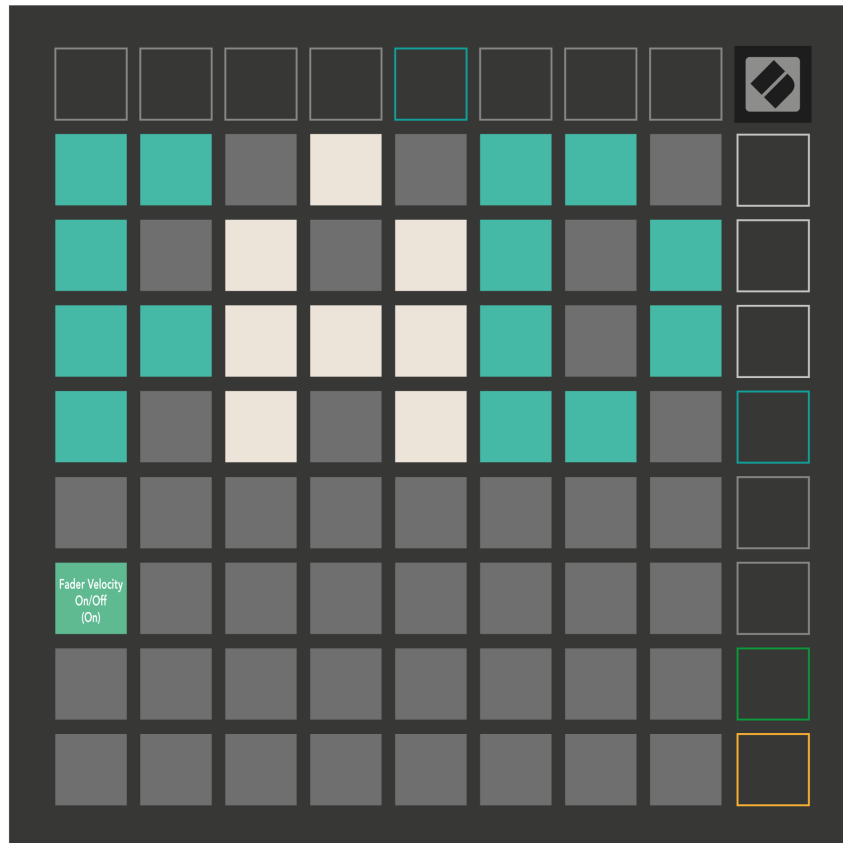


アフタータッチ無効、チャンネルプレッシャー、ポリフォニックアフタータッチから選択します。選択したモードは明るく点灯し、その他のモードは暗く点灯します。

3つのアフタータッチしきい値を選択できます。「低」ではアフタータッチに必要な力が少なくて済み、「高」ではより大きな力が必要です。選択したしきい値は明るい紫色に点灯し、その他のしきい値は薄暗く点灯します。

フェーダー設定

4番目の Scene Launch ボタンは、Launchpad X のフェーダー (FAD) 設定にアクセスします。ここでは、グローバル速度感度とは別に、フェーダーの速度感度を有効または無効にすることができます。



フェーダーのベロシティを有効または無効にするパッドを押すことによって。フェーダー速度が有効な場合、パッドは明るい緑色に点灯し、無効な場合は薄暗い赤色に点灯します。

レガシーモード、ライブモード、およびプログラマーモード

Launchpad X を使用できるモードは、レガシー、ライブ、プログラマーモードの3つです。

レガシーモードでは、Launchpad X はセッション、ノート、カスタムモードにアクセスできなくなり、表面全体 (パッドとボタン) が消灯します。MIDI メッセージを使用してパッドを点灯できます。

ライブモードがデフォルトのモードです。ライブモードでは、Launchpad X は「通常」として機能し、セッション、ノート、およびカスタムモードにアクセスできます。詳細については、次の場所からダウンロードできる『プログラマリファレンスガイド』を参照してください。 [ダウンロード](#)
[ド.novationmusic.com](http://d.novationmusic.com)。

プログラマーモードでは、Launchpad X はセッション、ノート、カスタムモードにアクセスできなくなり、表面全体 (パッドとボタン) が消灯します。各パッドとボタンを押すと、指定された MIDI メッセージが送信されます。

対応する MIDI メッセージを Launchpad X に送信することで、パッドとボタンを点灯させることができます。詳細については、次の場所からダウンロードできる『Programmer Reference Guide』を参照してください。 [ダウンロード](#) novationmusic.com。

レガシー、ライブ、およびプログラマーモードを切り替えるには、設定メニューに入ります (セッションを短く押し続けます)。紫色のシーン起動ボタンを押して Legacy モードに入るか、緑色のシーン起動ボタンを押してライブモードに入るか、オレンジ色のシーン起動ボタンを押してプログラマーモードに入ります。

Launchpad X は常にライブモードで電源がオンになります。

Launchpad X レガシーモード

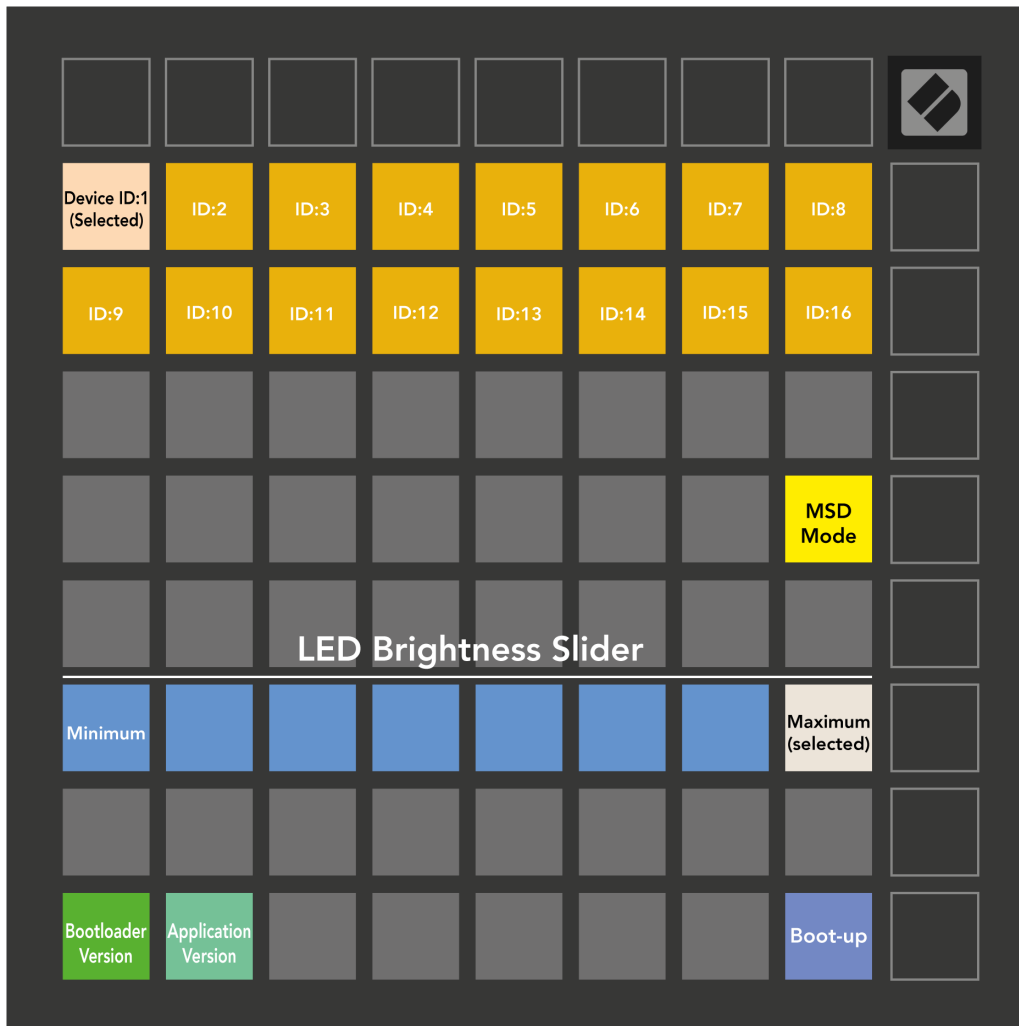
レガシーモードの場合:

- 8×8 のグリッドとボタンは、前世代の Launchpad のユーザーモードレイアウトと一致します。
- ドラムラックレイアウトの 8×8 グリッドはノートナンバー 36 ~ 99 を送信し、同じノートナンバーを Launchpad に送信することでそれらを点灯させることができます。
MIDI ノートのベロシティによって色が決まります。
- ボタンの一番上の行は、押すと CC 91 ~ 98 (左から右) を送信し、同じ CC メッセージを Launchpad に送信することでそれらを点灯させることができます。あるいは、上の行をノート番号 28 ~ 35 (左から右へ) で点灯させることもできます。速度または CC 値が色を決定します。
CC 99 または Note Number 27 を使用して、Novation ロゴを点灯させることができます。
- ボタンの右側の列は、押すとノート番号 100 ~ 107 (上から下) を送信し、同じノート番号を Launchpad に送信することでそれらを点灯させることができます。速度によってボタンの色が決まります。
MIDI ノートのベロシティによって色が決まります。

ブートローダーメニュー

Launchpad X のブートローダーメニューを使用すると、LED の明るさ、LED フィードバック、大容量ストレージデバイスの可用性、およびデバイス ID を変更できます。

ブートローダーメニューに入るには、Launchpad X を接続するときに Capture MIDI を押したままにします。



の LED 輝度レベルスライダー 明るさは最小から最大まで 8 段階あります。明るく点灯する白いパッドは、現在どのレベルが選択されているかを示します。

ブートローダーのバージョン Launchpad X にあるブートローダーのバージョンが通知されます。

アプリケーションのバージョン Launchpad X にあるアプリケーションのバージョンが通知されます。

起動する ボタンをクリックすると、Launchpad X が通常どおり起動し、ブートローダーメニューが終了します。

MSD モード Launchpad X の大容量ストレージ デバイスの動作をオンまたはオフに切り替えます。MSD モードはデフォルトで有効になっています。これが、Launchpad X がコンピュータに接続されたときに大容量ストレージ デバイスとして表示される理由です。LAUNCHPAD X フォルダー内には、Launchpad X のセットアップに役立つ Easy Start ツールへのリンクがあります (「[はじめる](#)」)。Launchpad X をセットアップしたら、それを大容量ストレージ デバイスとして表示したくない場合があります。この動作を完全に無効にするには、このトグルを使用します。パッドが明るく点灯している場合は MSD モードが有効になり、パッドが無効になっている場合は薄暗く点灯します。

デバイス ID 複数の Launchpad X ユニットの Ableton Live で同時に使用できるようになります。各 Launchpad X で異なる ID が選択されると、それぞれに独自のセッションリング (グリッドの輪郭) が割り当てられるため、独立してライブ セッションをナビゲートできます。

デフォルトの MIDI マッピング

64	65	66	67	96	97	98	99
60	61	62	63	92	93	94	95
56	57	58	59	88	89	90	91
52	53	54	55	84	85	86	87
48	49	50	51	80	81	82	83
44	45	46	47	76	77	78	79
40	41	42	43	72	73	74	75
36	37	38	39	68	69	70	71

カスタム 1: 8×8 グリッド、モーメンタリ ノート オン メッセージ (上記のノート番号)

	73	75		78	80	82	
72	74	76	77	79	81	83	84
	61	63		66	68	70	
60	62	64	65	67	69	71	72
	49	51		54	56	58	
48	50	52	53	55	57	59	60
	37	39		42	44	46	
36	38	40	41	43	45	47	36

カスタム 2: 8×8 グリッド、モーメンタリ ノート オン メッセージ (上記のノート番号)

64	65	66	67	96	97	98	99
60	61	62	63	92	93	94	95
56	57	58	59	88	89	90	91
52	53	54	55	84	85	86	87
48	49	50	51	80	81	82	83
44	45	46	47	76	77	78	79
40	41	42	43	72	73	74	75
36	37	38	39	68	69	70	71

カスタム 3: 8×8 グリッド、モーメンタリ ノート オン メッセージ (上記のノート番号)

81	82	83	84	85	86	87	88
71	72	73	74	75	76	77	78
61	62	63	64	65	66	67	68
51	52	53	54	55	56	57	58
41	42	43	44	45	46	47	48
31	32	33	34	35	36	37	38
21	22	23	24	25	26	27	28
11	12	13	14	15	16	17	18

カスタム 4: 8×8 グリッド、モーメンタリ ノート オン メッセージ (上記のノート番号)

プログラマモード: ボタンとパッド (フル 9×9 グリッド) を含み、ロゴ LED はアドレス指定可能、8×8 グリッド上のモーメンタリ ノート オン メッセージ (以下のノート番号)、最上行と右側の列から送信される CC メッセージ

91	92	93	94	95	96	97	98	99
81	82	83	84	85	86	87	88	89
71	72	73	74	75	76	77	78	79
61	62	63	64	65	66	67	68	69
51	52	53	54	55	56	57	58	59
41	42	43	44	45	46	47	48	49
31	32	33	34	35	36	37	38	39
21	22	23	24	25	26	27	28	29
11	12	13	14	15	16	17	18	19

Launchpad X の MIDI 実装に関する詳細については、次のプログラマー向けリファレンスガイドを参照してください。

[ダウンロード.novationmusic.com](https://www.novationmusic.com)

その他の情報



静電放電 (ESD) について

強力な静電放電 (ESD) が本製品の正常な動作に影響を及ぼす場合があります。その場合には、USB 接続を解除・再接続して再起動することで、正常な動作に戻ります。

商標

Novation の商標は Focusrite Audio Engineering Ltd. の所有物です。本マニュアルに記載されている他のすべてのブランド名、製品名、会社名、およびその他の商標登録または商標は、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

Novation は、本マニュアルに記載されている情報が正確で完全であることに万全を期しております。本マニュアルまたは記載されている機器の使用に起因する機器、第三者または機器の所有者に対する損失または損害について、Novation はいかなる場合も責任を負いません。本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

著作権および法定通知

Novation は、Focusrite Audio Engineering Limited の登録商標です。FLkey は、Focusrite Audio Engineering Plc の商標です。2022 © Focusrite Audio Engineering Limited. 禁無断転載。